

ノイエスだより

ノイエス朝日
(朝日印刷工業株式会社)群馬県前橋市元総社町73-5
TEL 027-255-3434
FAX 027-255-3435
<https://www.neues-asahi.jp>Communication House
NEUES
ASAHI

明治時代の渋谷が「ど田舎」な場所としてNHKの朝ドラに出てきて話題になっています。前橋でも、私の祖父は「この辺(前橋の駅の南側)は一面の小麦畑だった」とよく言っていました。百年経つと人々が当たり前前に思っている風景や生活とそれに伴う価値観も変わるということに改めて感じました。

そういえば、子どものころは落語の『目黒のサンマ』の落ちがどうしても理解できず、大人になって歴史など様々なことに興味を持つようになってから「そっか」と腑に落ちるようになりました。「サンマは目黒に限る」で笑えるまでに、目黒が田舎だったこと、冷蔵技術や運送手段がなかったこと、殿様と庶民の生活の差など…想像しなくてはいいけないことがたくさんありました。想像して笑えるならまだいい方かもしれません。価値観や社会常識が変わることに伴って、現代の表現としては問題があつて笑い話にもできずに公開できないものもあるでしょう。手を加えられない文芸や芸術作品に「当時の表現のまま掲載します」など、断りがつくのもよく目にします。

少し前に「チャャリーとチョコレート工場」など児童文学の名作で知られるイギリスの作家、故ロアルド・ダール氏の作品中の表現が、現在の検閲で引っかけか一部表現を変更することにしたものの、変更に対する批判も多く、結局オリジナルのまま引き続き出版されることになったということがありました。今回はそのような結果になりましたが、そのうち時代が進んで様々な書物が「時代に合った表現」に書き換えられる可能性もあると感じました。禁書のように法律で消されることはありません。時代とともに受け入れられなくなる作品があるかもしれません。逆に時代が変わって人気が出るものもあるでしょう。人は知らずに法律だけではなく様々な条件を鑑みて付度して生きているので、いつの間にか面倒なものは避けて無難なものが残っていくかもしれません。良心にしたがった良い付度の場合もあるかもしれませんが、己の都合のためだけの付度が悪例となつて社会のルールになるのは避けたいところです。世界が狭くなつて多くの情報に溺れそうなこの時代、価値観もすこい速さで変化しています。変わるべきものと、変えてはいけないもの、変わつてしまふけど受け入れるべきものなど、強い意志と柔軟な心を持つて見つけていかなくてはいけないと思つています。

(橋本)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

LDKツーリスト

ノイエス朝日営業所

〈企画〉

会期 十月五日(木)～九日(月・祝)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

身の回りにあるルールやタブー、人々が持っている「当たり前前」を、日常とは異なる視点から問い直し、遊びや旅を通じてその書き換えを試みているアーティスト中島佑太による展示です。中島の地元でもある南橋団地で行われている二つのプロジェクトを「ツアー」に見立てて紹介します。希望者が展示やツアーに参加できるしかけや、活動を共にする子どもや人々の作品と提案物、当社朝日印刷工業株式会社のデザイナーチームとのセッションによる「ツアーラシ」など、中島らしい「一人で行わないアート活動」をお楽しみください。

小林裕児展

雲と山のまちへ

〈企画〉

会期 十月十四日(土)～二十二日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

二〇二一年の三月以来二回目となる小林裕児さんの展覧会です。この間、小林さんは近県からこちら「群馬県」に越してきました。「森の中の一軒家から雲に近い山腹の住宅地に越してきました。整備された公園のような山の街なのに、とてつもなく広い空に湧き出る雲と異形の山を前にして私の絵の異界イメージはふくらむばかりです。」(パンフレットより) 見慣れた景色が作家の目を通して不思議で魅力的な世界になる様子が心奪われます。是非ご高覧ください。

小島誠ガラス作品展

企画

会期 十月二十六日(土)～十一月五日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

二〇〇八、二〇一一年から久々の三回目の個展です。花器、オブジェ、ガラス絵など、新作をメインに展示します。

森竹巳のクラージュ
思考するグリッド

〈企画〉

会期 十一月十一日(土)～十九日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

「貼る」ことに着目した新作約五十点の展示です。作品は、印刷物を切断し、再構成することで成立していますが、最も重視しているのはその視覚効果です。また、初めて使用したアルミ箔からは視点移動に伴い、見え方も微妙に変化する動視効果が得られました。どうぞご高覧ください。

森 竹巳

いけばな・おし花 花の饗宴

花と遊ぶ

会期 十一月二十四日(金)～二十六日(日)

午前十時～午後五時(最終日は午後四時終了)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2